

乗鞍岳の火山活動解説資料（平成 23 年 10 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2）

乗鞍高原（乗鞍岳の東北東 7 km）に設置にしてある遠望カメラでは、悪天候のため不明の期間がありますが、その他の期間は山頂部に噴気は認められませんでした。

・地震活動（図 3、図 4）

21 日に火山性地震が一時的に増加しましたが、それ以外の期間では発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。

火山性微動や低周波地震は観測されませんでした。

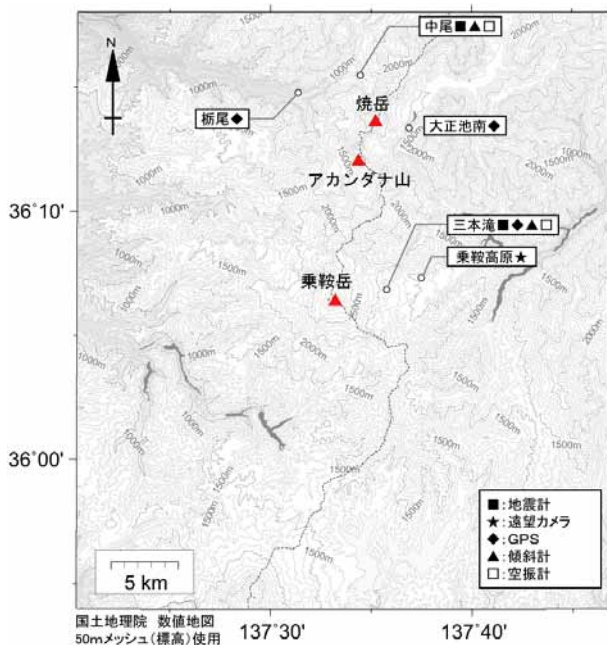


図 1 乗鞍岳 気象庁の観測点配置



図 2 乗鞍岳 山頂部の状況

（10 月 28 日 乗鞍高原遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 11 月分）は平成 23 年 12 月 8 日に発表する予定です。

この記号の資料は気象庁のほか、京都大学、名古屋大学、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『2 万 5 千分 1 地形図』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

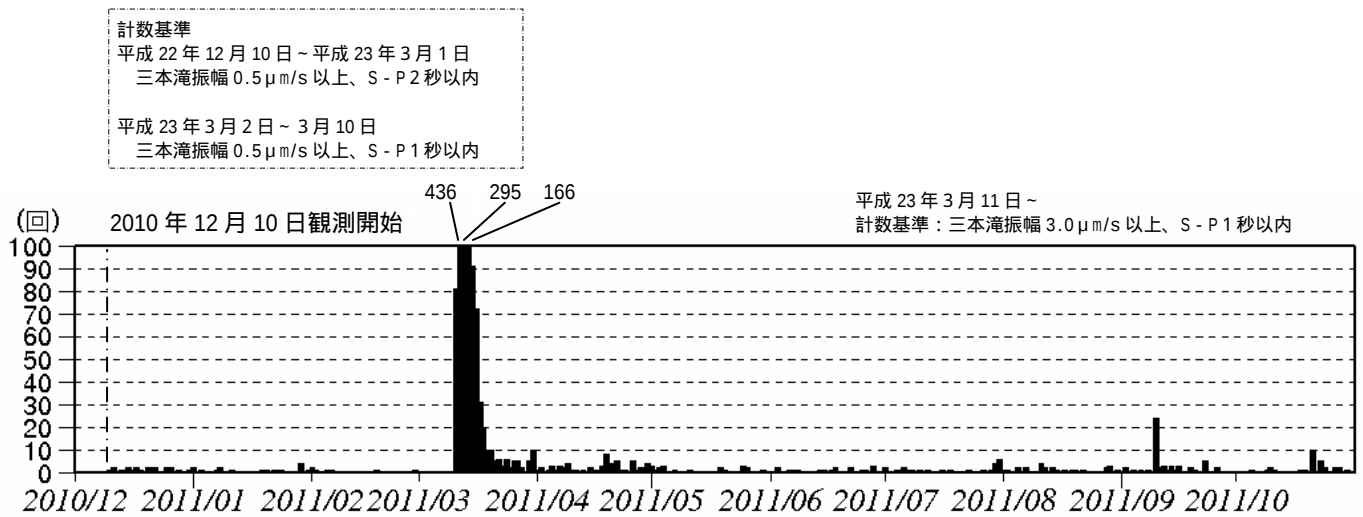


図 3 乗鞍岳周辺の日別地震回数（2010 年 12 月 10 日～2011 年 10 月 31 日）

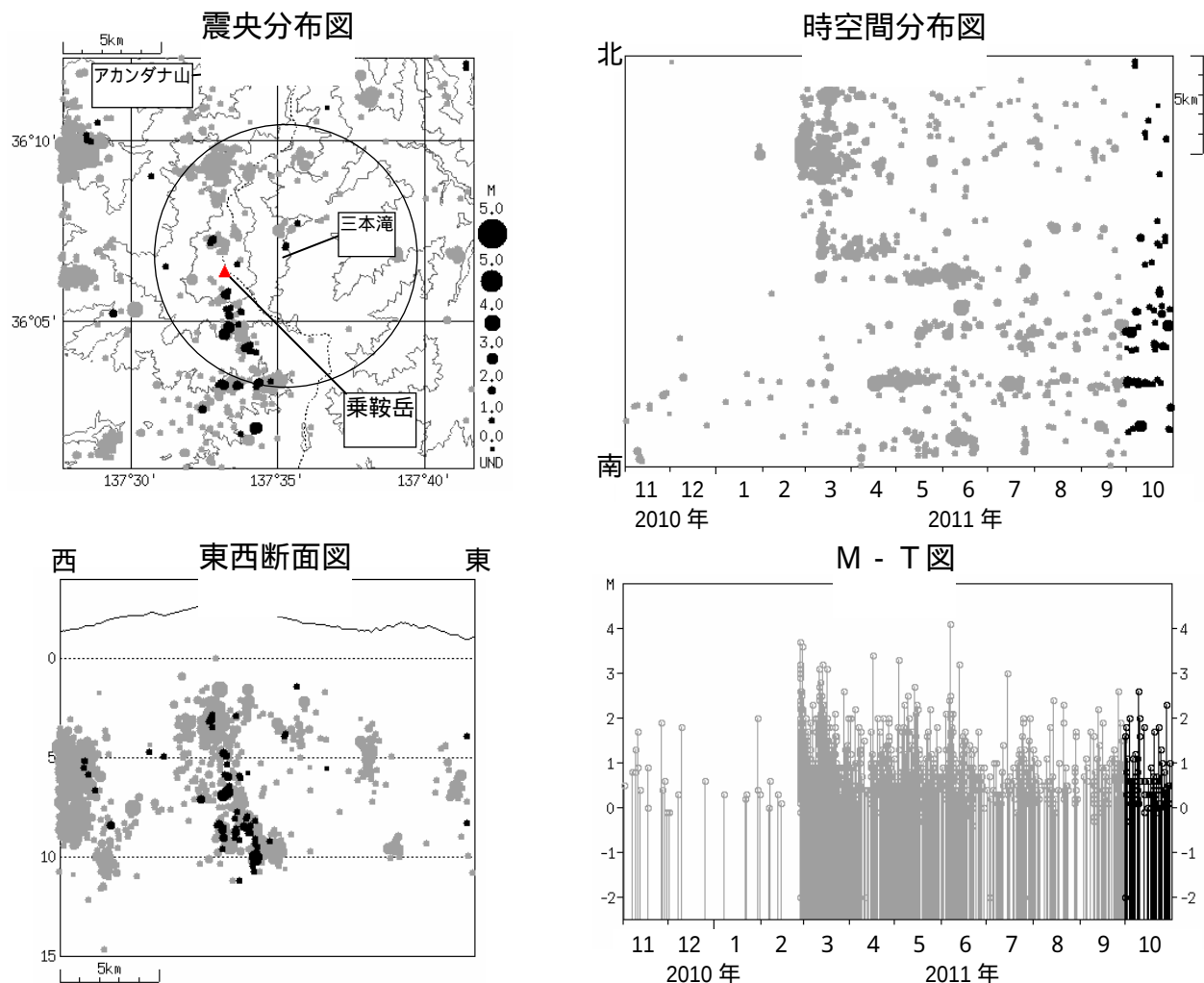


図 4 広域地震観測網による乗鞍岳周辺の地震活動(2010 年 11 月～2011 年 10 月)

●：2010 年 11 月 1 日～2011 年 9 月 30 日

●：2011 年 10 月 1 日～10 月 31 日

震央分布図中の円は図 3 の計数対象地震（三本滝で S - P 時間 1 秒以内）のおよその範囲。

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。

3 月～5 月分は一部未処理の期間があります。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。